第２回地域振興会議の質問事項への回答

（福部町総合支所の耐震化（福部中学校の活用方法）について）

　福部町総合支所の耐震化に向けて福部中学校の活用については次のとおりです。

１　位置図



部室棟

学校駐車場

特別教室棟

プール

体育館

２　福部中学校の概要



３　現状と課題

（１）中学校で利用可能な延床面積は1,343㎡（体育館、特別教室棟、部室除く）であり、現庁舎の延床面積1,375㎡（車庫部分を除く）とほぼ同一となるため面積は問題ありません。しかし、支所機能（窓口対応など）としての改修に加え、3階建であるため市民の利便性を考慮した改修（エレベーターなど）を行う必要があり、多額の費用が必要となります。

（２）高台に立地しており、徒歩で来庁される方は県道から急峻な坂道を上ることになるため、子供、お年寄りなどの交通弱者に不便を掛けます。

また、積雪時の滑り止等の対策が必要と思われます。

（３）窓口、会議等で支所を利用される方のほとんどは車で来庁されます。また、災害時には警察、消防団などの関係者や避難者、緊急物資搬入など多くの駐車スペースが必要となります。しかし、現在は校舎周りに少し駐車ができるのみで、抜本的な駐車場対策が必要です。

市道沿いに駐車場（４１台）がありますが、これは学校の駐車場です。

４　検討結果

　福部中学校を総合支所として活用するには、上記の課題をクリアする必要があります。総合支所は市民サービス・防災の拠点としてユニバーサルデザインを重視した整備を行う必要があることから、福部中学校の活用は行わず、現庁舎を中心とした整備を進めて行くこととします。